図書館だより

2023
2

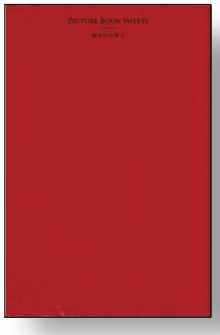
特集
「物語とお菓子」
一般展示
「懐かしいモノたち」
「平和展―東京大空襲と今、
ウクライナで起きていること」
YA 展示
「知ってる？あのドラマの原作」
新刊紹介
図書館員の本棚

杉並区立中央図書館

特　集

物語とお菓子

小説や絵本を読んで印象に残るのは、おいしいものが出てくる場面ではないでしょうか。物語に出てくるおいしそうなお菓子が、本当に食べられたら！という夢をかなえてくれる本をご紹介します。



『絵本のお菓子』

太田 さちか／著
マイルスタッフ　2021.5
請求記号：596.65 オ

絵本の１ページがそのままお菓子になって紹介されています。「スイミー」の小さな魚たちのグミ、「うらしまたろう」の海にあった星型のゼリー、「おちゃのじかんにきたとら」のティータイム、などなど、見ているだけでおはなしの場面が浮かぶ、読んで楽しい、作っておいしい１冊です。

『名作の中のお菓子物語』

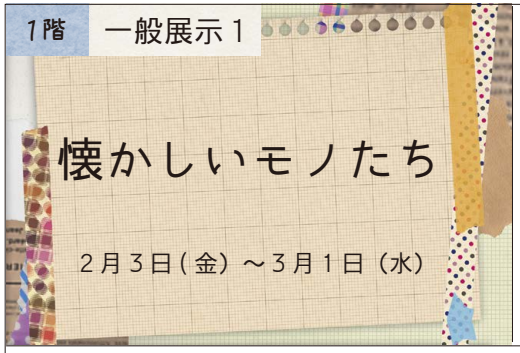
今田 美奈子／著
葉 祥明／絵
朝日学生新聞社
2015.10
請求記号：900 イ（児童）

ひとつひとつの物語の紹介には、葉祥明さんのイラストとお菓子のレシピが付いています。

『イギリスのお菓子とごちそう　ｱｶﾞｻ･ｸﾘｽﾃｨｰの食卓』

北野 佐久子／著
二見書房　2019.4
請求記号：930.278 キ

ミステリーに登場するおいしいお菓子とごちそうを、名場面とともに味わえます。



近頃よく見聞きする「レトロ」という言葉。あの頃のモノたちに再び注目が集まっています。昭和から平成の懐かしいモノを本と少女漫画誌の付録でたどりましょう。あなたの「レトロ」も見つかるかも！？

『くらべる時代　昭和と平成』

おかべ たかし／文
山出 高士／写真
東京書籍　2017.3
請求記号：210.76 オ

横断歩道がいつのまにか横線だけになっていた！？「昭和」と「平成」で身近なモノがどう変わったか、写真を見れば一目でわかります。34 個のモノたちから時代の違いを比べてみよう。

『百貨店の展覧会　昭和のみせもの 1945-1988』

志賀 健二郎／著
筑摩書房　2018.3
請求記号：706 シ

百貨店の催し物から「昭和」という時代が見えてくる。

『平成新語　出どこはどこ？　平成を象徴する言葉の「起源」！』

中村 三郎／著
柏書房　2019.4
請求記号：814 ナ

「平成」に生まれ流行った言葉たち。いつ、どこで使われはじめたのか。

1階　一般展示２

平和展

「東京大空襲と今、
ウクライナで起きていること」

２月３日（金）～３月１日（水）

毎年、区役所で実施している平和展が今年は中央図書館でも開催されます。東京大空襲と現在のウクライナの戦禍の状況を対比させた写真パネルの展示です。この機会に平和の尊さを考えてみませんか。

『トレブリンカの地獄　ワシーリー・グロスマン前期作品集』

ワシーリー・グロスマン／著　みすず書房　2017.5
赤尾 光春／訳　請求記号：988 ク
中村 唯史／訳

ウクライナ出身のユダヤ人であり赤軍の記者であるグロスマンが、ホロコーストや戦時下の人々を描く。続編『システィーナの聖母』へと思想が変化していく過渡期の作品集。

『システィーナの聖母　ワシーリー・グロスマン後期作品集』

ワシーリー・グロスマン／著　みすず書房　2015.5
齋藤　紘一／訳　請求記号：988 ク

『キーウの月』

ジャンニ・ロダーリ／作　講談社　2022.8
ベアトリーチェ・アレマーニャ／絵　請求記号：973 ロ
内田 洋子／訳

ウクライナ支援を目的に緊急出版された絵本。イタリア児童文学の巨匠が 1960 年に発表した詩に、現代の画家が絵をつけました。

『不死鳥少年
アンディ・タケシの東京大空襲』

石田 衣良／著　毎日新聞出版　2019.2
請求記号：913.6 イシ

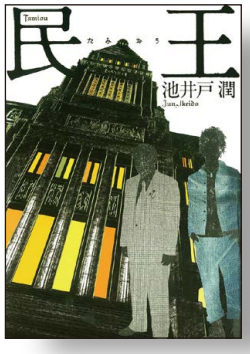
愛する父の国から爆撃され、母の国の都をみんなで命がけで逃げた。あの炎の一夜を忘れるな。

2階　ＹＡ展示

知ってる？
あのドラマの原作

１月６日（金）～３月１日（水）

みなさんが普段目にするドラマの中には、小説を原作とする作品が多くあります。映像で楽しむのも良いですが、原作を読んでまた違った視点から作品の魅力に触れてみませんか。



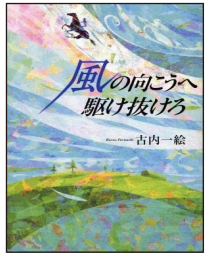
『民王』

池井戸 潤／著
ポプラ社　2010.5
請求記号：913.6 イケ

総理大臣の父と奔放息子の体が入れ替わる！？息子の代わりに就職活動で面接官に啖呵を切る父と、漢字も読めないのに国会の答弁に臨む息子。それぞれの役割を果たすため、互いが互いを演じます。政治に関心が薄い方でも楽しめる痛快コメディ。

『風の向こうへ駆け抜けろ』

古内 一絵／著　小学館　2014.1
請求記号：913.6 フル



舞台は地方競馬場。優秀な新人女性騎手の主人公が配属されたのは、廃業寸前の厩舎でした。前を見据えて努力する姿に勇気をもらえます。

『三匹のおっさん』

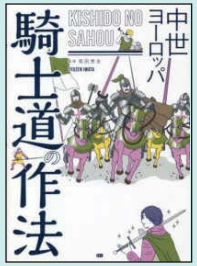
有川 浩／著　新潮社　2015.1
請求記号：913.6 アリ

還暦を過ぎたからってまだまだ「じいさん」とは呼ばせない。かつての悪ガキ３人組が、町の平和を守るためご近所トラブルの解決に乗り出します。

中央図書館に入った

新刊紹介

『中世ヨーロッパ騎士道の作法』



祝田 秀全／監修　　G.B.　2022.11
請求記号：156 シ

礼儀は重んじるが虐殺と略奪は当たり前、重い装備のため激しい筋肉痛に悩まされた、最大の屈辱は仲間からのイジリ……。中世ヨーロッパの“騎士”がいったいどのような精神を持ち、どのように戦い、暮らしていたのかを紹介する。

『たりる生活』

群 ようこ／著　　朝日新聞出版　2022.12
請求記号：914.7 ムレ

愛猫を見送り、27 年間住んだ、一人暮らしには大きすぎる部屋をいよいよ離れることに。＜終活＞の第一歩、身軽な生活を手にするための引っ越しエッセイ。『一冊の本』連載を加筆修正し書籍化。

『妖の絆』

誉田 哲也／著　　文藝春秋　2022.12
請求記号：913.6 ホン

人の血を啜り闇から闇へと生きる絶世の美女・紅鈴が、江戸の世で欣治という少年に出会う。2 人の偶然の出会いは、永遠の絆となり……。「妖の華」「妖の掟」の「妖シリーズ」エピソード・ゼロ。

図書館スタッフのおススメの本を紹介するコーナー

図書館員の本棚

『システム自炊法
シングル・ライフの健康は、こう守る』

丸元 淑生／著
中央公論社　1987.6
請求記号：596 マ

働き方や生活環境が大きく変化した当時、生活習慣病という言葉が無い頃から日本人の健康を危惧していた著者の先見に興味を持ち、この本を手に取りました。

著者は当時の日本人の食生活に転換が必要であることを、栄養学的観点から課題としていました。

それまで当たり前とされていた食べ方は、戦前・戦中の「飢餓の栄養学」に基づいているから、これからは食べ物のあふれる環境に適応するための「ゆたかさの栄養学」に基づいた食べ方を組み立てなければならない。

この考えから出発して、とくに仕事と家事の両立が困難な単身生活者向けに、システマチックな自炊法を提案する本です。保温のご飯より冷や飯、大豆は無農薬のものを発芽させてから食べる、野菜は茹でるのでなく野菜の水分で蒸す、弁当には花粉を取り入れる、など、数々のユニークな提案がなされています。

枝葉の記述は最新の知見と異なるかもしれませんが、年月の経過によって損なわれない、おもしろいアイデアが詰まった１冊ではないかと思います。

2月　のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22 一般映画会	23	24	25
26	27	28				

：あかちゃんタイム
：おはなし会

詳細は なかよしつうしん をご覧ください。

開館時間

月～土	９：００～２０：００
日・祝	９：００～１７：００
休館日	第１・第３木曜日

特別整理に伴う臨時休館
２月 13 日（月）～２月 17 日（金）

一般映画会

『アフガニスタン干ばつの大地に用水路を拓く』（治水技術７年の軌跡）

２月２２日（水）

①午前 10：00～　②午後２：00～

定員 30 名（先着順）

新型コロナウイルス感染防止の為
マスク着用をお願いいたします。
長時間のご利用はお控えください。

詳しくは、図書館カレンダー、
図書館ホームページをご覧ください。

所在地
〒167－0051
杉並区荻窪3－40－23
☎ 03－3391－5754

公式HP

図書館だより
２０２３年 ２月１日
杉並区立中央図書館　発行